

主 文

原判決を破棄し、本件を東京高等裁判所に差し戻す。

理 由

上告代理人金網正己の上告理由第一点について。

一件記録によると、上告人は、本件土地について時効による所有権の取得を主張しているのかかわらず、原判決は、この点について判断を示していないことは、所論のとおりであり、右判断の遺脱は、原判決の結論に影響を及ぼすことは明らかであるから、原判決は、全部破棄を免れない。

よつて、その余の論旨に対する判断を省略し、本件を東京高等裁判所に差し戻すこととし、民訴法四〇七条に従い、裁判官全員の一致で、主文のとおり、判決する。

最高裁判所第三小法廷

裁判長裁判官	柏	原	語	六
裁判官	田	中	二	郎
裁判官	下	村	三	郎